

第14回 広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会まとめ(要点筆記)

《開催日》 平成21年1月30日(金)午前9時30分～午後12時00分

《場所》 豊岡市立図書館 2階 視聴覚室

《出席者》 委員：寺嶋均、森住明弘、八村智明、吉田勲、定元之雄、狩野昇、
日下部昌男、山田政五郎、荒井泰史、久保田八千代、
足田仁司 (敬称略)

組合：事務局長他 6名 合計18名

関係市町 垣江課長、松井課長

《内容》 ... 委員会次第

1 開会

2 報告

(1) 第13回選定委員会以降の経過

(2) 坊岡区民との話し合いの場(1月29日)での状況について

(3) 事業の進捗状況について

3 協議

(1) 選定区への対応について

今後の方向について

内容については、広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会設置要綱第6条第3項の規定により非公開とする。

【報告の内容についての意見等】(要点筆記)

- 土地買収が行えるかどうかが課題である。
- 反対されている地権者の方に、何人了解をいただくかというのが重要である。
- 反対される人の理由は何か。
- 現代生活において、リスクゼロというのは不可能である。リスクをゼロに近づけるには生活の利便とか福祉を削り膨大な投資をしなければならない。
- 選定委員会が、容認という言葉を使ったのは、区として望んできてほしいものではないが、候補地として決まれば、やむを得ないという意味を含めた表現として使ったものであることを説明した。
- このような状況下で、基本協定の意義はあるのか。
- 地区内の融和を図る方法はないか。
- 岩井区民等、同じ立場の人の言葉なら理解してもらえるのではないか。

【今後の方向について】

- 選定委員会の要綱を一部改正し、テーマ別に部会的なものを設け、迅速に対応できる体制づくりをすることにより、今後も継続していく。